

地域団体とNPO法人による連携・協力の事例

～地域のお祭りが復活！住民間のつながりが生まれるきっかけに～ ＜取組事例①＞

悩み・背景

以前は自治会による大きなお祭りが行われていたが、住民の大半を占める市営住宅における高齢者世帯の増加などにより、次第に入居者同士のつながりが薄れ、担い手不足になった結果、お祭りが中断された。

解決策

「子育て世帯」にスポットを当て、子育て支援に取り組むNPO法人を中心に行政等の関係機関と自治会が手を組み、お祭りの復活だけでなく、子どもイベントの開催に向け、話し合いを重ねた。



成果

約30年ぶりにお祭りの復活に成功！地域での話し合いが活発になったことで、お祭り以外にも子どもがいきいきと楽しめるスポーツイベント等が定期的開催されるようになった！

～交通安全を楽しく学べるきっかけ作りを！次世代へ受け継ぐ活動に発展～ ＜取組事例②＞

悩み・背景

交通量の多い場所に小学校があるため、PTAの中で小学生の交通安全に対する意識づくりを進めたい！低学年の中で毎年継続できる取組にしたい！という課題が、話し合われていた。

解決策

子どもの健全育成に取り組むNPO法人とPTAが連携し、2年生のアイデアを基にした交通安全すごろくを作成。また、事業への寄付を募り、安全ベストの購入を検討。



成果

児童がすごろくで遊びながら交通安全への理解を深めて学ぶ機会を、小学校の取組の一環として実施！また、安全ベストの購入も実現し、3年生進級時に新2年生への贈呈式を実施！

～里の魅力を広く多くの人に伝えたい！柚子を使った地域おこしを～ <取組事例③>

悩み・背景

里の高齢化が進み、柚子生産の後継者不足や、里を訪れる人も少なくなってきた姿が、日本の伝統文化の普及啓発に取り組むNPO法人の中で心配ごととして、話し合われていた。

解決策

行政が仲介役となり、地域の自治会とNPO法人が連携し、柚子とともに里の歴史文化を伝える講座を開催したり、行政主催イベントにも両者で出店することで、柚子を通して地域の魅力を広く発信した。



成果

従来から取り組んでいる里での野草の鑑賞会に加えて、新たに講演会・交流イベントや住民が講師となる講座が開催されるなど、里の応援者と地域が一丸となって魅力を発信！

～「本」を通してマンション内のきずなづくりにチャレンジ！～ <取組事例④>

悩み・背景

新築後、間もなく結成されたマンション自治会の中で、住民間のつながりがまだまだ希薄なこともあり、相互理解や助け合いができる関係を作っていくことが課題になっていた。

解決策

地元で活動するNPO法人と連携して「本を通じた交流の場」づくりを企画し、マンション内に図書コーナーを設置。「本の大切さと関わり合いの大切さ」をテーマにした、NPO法人による演劇も披露。



成果

集いの図書館として常設に成功！マンション住民の入れ替わりがある中、現在も図書館の運営を行いつつ、自治会による秋祭りを行うなど、住民同士のコミュニティが活性化！